

鳥取環境大学 建築・環境デザイン学科 特別講義

第Ⅰ部：木造建築構法と大工道具編

建築・環境デザイン学科3・4年生
対象の専門科目ですが、一般公開も
いたします。受講希望者はメールを
design@kankyo-u.ac.jp まで！

場所：鳥取環境大学
29 講義室

10月24日(木) 14:40～17:50

ユーラシアの木造建築構法

講師：太田 邦夫 氏

10月25日(金) 9:00～12:10

大工道具の東西比較

講師：渡邊 晶 氏

講師プロフィール

太田邦夫（おおた くにお）

東洋大学・ものづくり大学名誉教授

1935年、東京生まれ。
1959年、東京大学工学部建築学科卒業。
同大学図学教室助手、東洋大学建築学科教授、
ものづくり大学建設技能工芸学科教授を経て、
太田邦夫建築設計室主宰。工学博士。一級建築士。
1985年度日本建築学会賞（論文部門）受賞。

主な著書

『木造の詳細—構造編、仕上編』（1968）
『ヨーロッパの木造建築』（1985）
『東ヨーロッパの木造建築—架構方式の比較研究』（1988）
『エスノ・アーキテクチャ』（2010）など

主な建築設計作品

「ぼっこ山荘」（蓼科、1962）
「三笠の家」（軽井沢、1963）
「史跡根古谷台遺跡（復原設計）」（宇都宮、1990）など

渡邊晶（わたなべ あきら）

建築技術史研究所所長

1953年、鳥取県境港市に生まれる。
1976年、福井大学工学部建築学科卒業。
文化財建造物保存技術協会、竹中大工道具館
（竹中工務店）学芸部長を経て、2012年より
建築技術史研究所を開設。青谷上寺地遺跡の
建築部材分析に携わる。工学博士（東京大学）。
一級建築士。学芸員。

主な著書

『技術と暮らしの日本史』（共著、1998）
『国宝の建築』（共著、1999）
『文化財を探る科学の目』（共著、1999）
『埋もれた中近世の住まい』（共著、2001）
『日本建築技術史の研究—大工道具の発達史—』（2004）
『大工道具の日本史』（2004）など